

## 米山月間によせて

米山奨学委員会 委員長

近藤 菜穂子

(大阪ネクストRC)



平素は米山奨学事業に対して多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

米山奨学事業は将来、母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。最近では日本で就労しながら母国と関わり、活躍する奨学生もいます。また、米山奨学会は60年の歴史を持つ日本独自の国際奨学事業でもあります。

そして、国際ロータリーが認める日本唯一の「他地区合同奉仕活動」となり日本最大の民間国際奨学事業として現在に至っています。

しかしながら、奨学生の採用数が年々減っており今年も724名の奨学生採用となりました。当地区でも45クラブのご希望をいただいておりますが、20クラブほどお断りすることになり誠に残念でなりません。将来的ビジョンとしましては、全てのクラブに奨学生をご紹介したいと望んでおりますが、現況ではまずご希望下さる全てのクラブに奨学生をご紹介できるようにしたいと思います。そのためにも、本年度も一人当たり30000円の寄付金目標とさせていただきます。そして、一人でも多くのロータリアンに

米山奨学事業のファンになっていただくために推薦大学制度の充実を考えています。

当地区は47の指定有資格校に恵まれていますので、優秀な留学生をしっかりと見極めるよう努めたいと思います。私はこの米山奨学事業は国際人材育成事業と考えております。1~2年間の期間でロータリアンと共に学び合い、様々な機会や体験を通して感動し、自己成長できる場であると思います。そして、奨学生と関わっていただく多くのロータリアンのご支援や温かいご指導を受けたことにより、奉仕の精神を感じ取って国際社会に羽ばたいて活躍しています。

私たちロータリアンも奨学生には見返りを求めることなく、受けた奉仕の精神を次世代に繋いでいってほしいと切に願います。幸い、奨学生を終了した学友会という組織がありロータリーに何か貢献できないかと考えています。

外国人留学生支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き世界の平和を願っている心を育てるといふ米山奨学事業に更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。